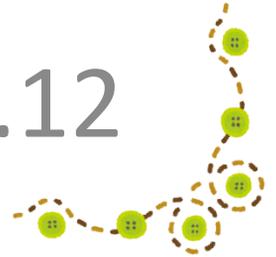


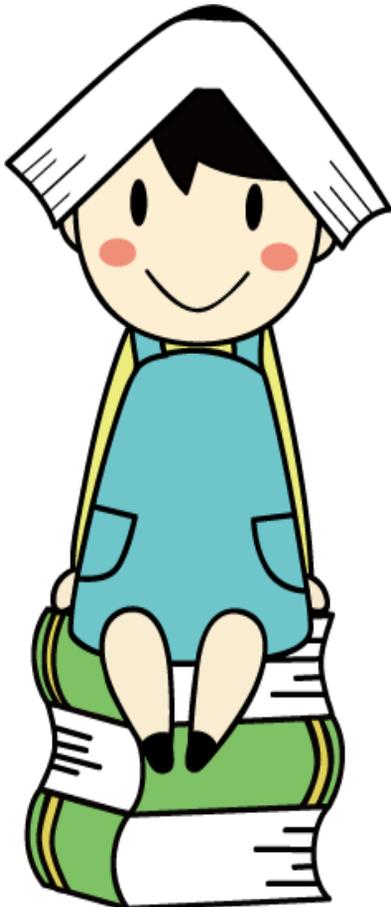


WISSEN

No.12



2017年度の学生ボランティア・学生情報通信員による
広報誌「WISSEN」をお届けします。
2017年度は学生ボランティア11名で活動しました。
この広報誌「WISSEN」で学生ボランティアの活動を
ご紹介します。



2017年度の活動

- 新刊・学生選書・展示のためのPOP作成
- 学生ボランティアミーティングの様子
- 季節の装飾
- クリスマスの飾り付け
- ミニ展示とのコラボレーション
- 「図書館長と話をしよう！」に参加
- ビブリオバトル
- 「WISSEN」発行の準備

新刊・学生選書・展示のためのPOP作成

学生ボランティアのお仕事の一つとして新刊や学生選書など、各展示コーナーにある本の説明や推薦文を書いています。

展示が終了した本のPOPは、新館2階円形コーナーに「POP大行進」と称して並べています。

ぜひ、学生ボランティアのおすすめ本を探してみてください。



学生ボランティアミーティングの様子

学生ボランティア・学生情報通信員は、基本的にそれぞれ授業の合間や放課後など、好きな時に活動しています。

その間に、学生ボランティアは年に数回ミーティングを行います。図書館でやってみたい展示や企画を考え、みんなで案を出していきます。今年も様々な案を出してくれました。



ミーティングは初対面の人が多く、はじめは緊張しますが、ミーティングや活動を通して学年を超えて仲良くなっていきます！



季節の装飾

クリスマスだけでなく図書館を四季に合わせて装飾をしたい！という学生ボランティアの意見により、図書館を四季折々の装飾で彩りました。

秋には紅葉やハロウィンの装飾を飾りつけ、図書館内が一気に秋らしくなりました。新刊書のPOPとともに、たくさんの方が足を止めて見てくれているようでした。



クリスマスの飾り付け



クリスマスに向け、きらびやかなツリーやリースなどで図書館内をクリスマス一色に飾り付けました。



ミニ展示とのコラボレーション

2017年度の学生ボランティアで考えた企画、「ボランティアのオススメ本」をもとに、「学生ボランティアのオススメ本」の展示を本館2階にて行いました。



「図書館長と話をしよう！」に参加



11月30日有瀬図書館にて、「図書館長と話をしよう！」が行われました。図書館で気になることや聞いてみたいこと、何でもざっくばらんに語り合えるイベントです。

参加した学生ボランティア2名も、さまざまな意見を交わしました。



ビブリオバトル参戦！！

2007年に京都大学で生まれた、知的書評合戦「ビブリオバトル」。発表者が自分のお勧め本を紹介し、一番読みたくなった本を参加者全員が投票し、「チャンプ本」を決定します。

有瀬図書館でも2011年より開催していますが、2017年度は学生ボランティア3名を含むバトルー達が熱戦を繰り広げました！

『キケン』：有川浩 著
本館 4 階閲覧室
913.6/ARI/K



『月夜のキノコ』
いわむらかずお 著



『竜馬がゆく』 (一)
司馬遼太郎 著
本館 4 階文庫・新書
B000/B/し/1-67



「WISSEN」発行の準備 — 図書を紹介と振り返り —

2017年度の活動のまとめとして、本誌「WISSEN」を作成しました。

一年間の活動を振り返り反省点や良かったことを考え、次年度に活かせるようにしています。



-学生ボランティア おすすめの図書-

『翼を持つ少女 BISビブリオバトル部』 山本弘
有瀬図書館 本館4階閲覧室 913.6/YAM/B

美心国際学園（BIS）というインターナショナルスクールのビブリオバトル部を描いたシリーズ第1巻です。
ビブリオバトルに使われる本は実在する本を取り上げて、多種多様な本を知ることができます。もちろん、ただ本を紹介するだけではなく、シリーズを追うごとに想定外の展開になっていくストーリーにも読み応えがあります。



『ハケンアニメ!』 辻村深月
有瀬図書館 本館4階閲覧室 913.6/TSU/H

アニメ制作の様子が描かれた作品で、普段何気なく見ているアニメの裏側を知ることができます。
監督をはじめ、原画、声優、プロデューサーなど、様々な立場の人が出てくるため、それぞれの仕事へかける思いなどを知ることができ、とても面白かったです。

『麒麟』 山田悠介
ポア図書館 2階西 913.6/YAM/K

厚子は天才の子供が欲しいため、ジニアスバンクでオークションに勝ち秀才を産む。頭は良かったが、容姿や性格などに不満があり、パーフェクトベイビーが欲しい厚子は次のオークションに勝ち麒麟を産む。麒麟は背中にシミが出てきたあたりから成長が止まってしまう。厚子や秀才に見捨てられてしまうが、麒麟は家族を信じ続ける切ないストーリー。



『死ぬほど読書』 丹羽 宇一郎
有瀬図書館 本館4階文庫・新書 B/гент/461

この本のタイトルを見て、「本を読むことは大事なの？それぐらい必要？」と思った方もいるでしょう。
近年、読書離れが多い私たちへの課題だと思います。本書には本を読むことの大切さについて書かれています。

『世界の美術 コンパクト版』 エス・プロジェクト日本語版編集
有瀬図書館 本館 4 階閲覧室 702/SEK

世界各地にある名画や名彫刻などの芸術作品、芸術家について、フルカラーで書かれている本です。大型本もありますが、それと比べ小さく机で広げて読みやすいです。芸術が好きの人にとっては何度も読み直したくなるような本と言えると思います。小説とかでは読みにくい人も、写真が多いこの本であれば眺めるだけでも楽しめる本です。



『夜のピクニック』 恩田陸
有瀬図書館 本館 4 階閲覧室 913.6/OND/Y

舞台となる高校では80キロの道のりを全校生徒が夜通し歩く、歩行祭という行事が始まった。今回で最後の歩行祭となる高校3年生の貴子は、この歩行祭にある想いをもってのぞんでいた...

この歩行祭という行事は実際にある高校で行われていたもののようです。私は体験したことはありませんが、それでも物語の彼らと一緒に長くも短い道のりを歩いている気持ちになりました。あの時の自分もっていたらうけど今はもう失ってしまった何かを描かれている。そんな風を感じられた物語です。

『イラストでときめく片づけの魔法』 近藤麻理恵
有瀬図書館 本館 5 階 4 室 597.5/KON/I

著者のこんまりさんこと近藤麻理恵さんが片づけレッスンの現場で指導してきた108の具体的な片づけノウハウについて、イラストをふんだんに使用した片づけのイラスト事典のような実用的でとても分かりやすい本です。これから片づけを始める人や片づけを始めているが、何から手をつければいいのか悩んでいる人などにオススメです。部屋が片づくだけでなく、どこか心までも軽くなったような気持ちにさせてくれる一冊です。



- 1年間の活動を振り返って -



今回は前回できなかった展示を企画し、実行することができてよかったです。私は次年度からは参加することが難しくなりますが、本が好き・図書館が好きという方にとってはとても楽しい経験ができるボランティアなので、興味のある方はぜひ参加してこれからも活動を続けていってほしいと思います。

(人文学部・3回生)

学生ボランティアを始めたきっかけは、本屋でアルバイトしていることもあり、本に親しみを持ったのと、大学で何かボランティア活動をやってみたいと思ったからです。

この1年間で様々な活動をしましたが、一番印象に残っているのはビブリオバトルです。はじめは、あまりやる気はなかったのですが、いい機会だと思い挑戦してみました。やってみると、本の魅力を人に上手く伝えることが難しく、しかしとても面白いことだとわかりました。

きっと、学生ボランティアに参加していなければビブリオバトルにも参加していなかったため、とても良い経験ができました。

(栄養学部・1回生)

今年図書館ボランティアに登録したきっかけは去年もしていたのでしました。去年よりもできることが増えるようにしたいと思っていましたが、あまり時間の確保が出来ず、ミーティングの出席が多かったように感じました。

活動は去年に比べあまりできませんでしたが、新しく入ってきたボランティアの人と交流ができたので良かったと思います。

(人文学部・2回生)

今回初めて図書館のボランティアをさせていただきました。

印象に残っているのはボランティアの選書コーナーを設けてもらい、各々のおススメ本のPOPを作ったことです。

作成したPOPと本を、図書館を利用する人の目にとまりやすい場所においてもらえるという経験が出来たことがうれしかったです。

あまり参加できないことも多かったです。無理せず活動できたのでありがたかったです。

(人文学部・3回生)

今年度、大学で何かお手伝いやボランティアに取り組もうと考えていたが、なかなか見つけることができませんでした。

その時、私は母から図書館ボランティアを勧めてくれました。

授業の空き時間や放課後に、図書館のスタッフやボランティアのメンバーと仲良く仕事ができるからです。図書館に行くことが好きな私にとっては、いい機会だったと思います。前期は、空き時間や放課後など時間がある時に行ってましたが、後期に入ってから忙しくなりミーティングや作業のある日以外は来ることができませんでした。

来年度も続ける予定なので、よろしくお願いします。

今年度はありがとうございました。

(人文学部・1回生)

私は今年でボランティアをして3年目となります。講義や部活で忙しい中でもボランティアに参加でき、楽しむこともできました。

季節の飾り付けやブックカバー作成などが年々、少しずつ変化していることを感じた一年となりました。来年度も継続してボランティアを行いたいです。

(人文学部・3回生)

初めてのボランティア活動では、POP作成やクリスマスの飾りつけなど図書館に関わることができ、とても楽しくやりがいを感じました。

特にPOP作成においては、どのようにすれば本を手にとってくれるのか考えながら作ってきました。その本に関連のあるイラストを用いたり、本の説明を工夫したりするなど、見る側の視点に立つことの大切さを学ばせて頂きました。

これまで、利用者側でしか見えていなかったものが、ボランティアを通して職員さんの仕事を間近で見たり、知ることによって多くの人びとが図書館を利用しやすくとても居心地の良い空間にさせてくれていることを肌で感じました。

(人文学部・3回生)



編集後記

2017年度も多くの学生ボランティアの皆さんに活動していただいたので、図書館を盛り上げることができました。

スタッフとしても、とても充実した1年となりました。

図書館での活動を通して、皆さんに何か得られるものがあれば嬉しく思います。

学生ボランティアのみなさん、1年間お疲れ様でした。

2018年度もぜひ学生ボランティア・学生情報通信員にご参加ください♪

(スタッフより)

学生ボランティア・学生情報通信員は
随時募集中です。

興味がある方はお気軽にスタッフまで
お声かけ下さい♪



発行日	2018年5月17日
編集	2017年度 学生ボランティア
発行	神戸学院大学 有瀬図書館
印刷	神戸学院大学 有瀬図書館